

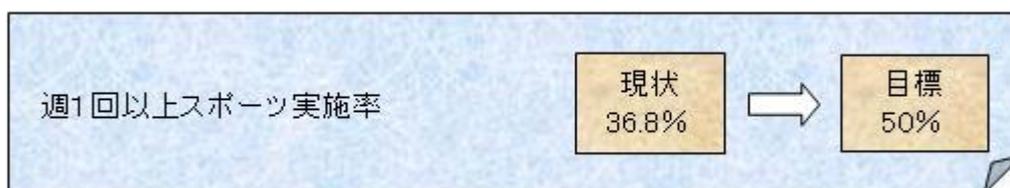
第6章 数値目標

生涯スポーツマスタープランの推進にあたり、進捗や成果を計るために、次の4つの具体的な数値目標を設定します。

第1節 週1回以上スポーツ実施率

市民が、日常的にスポーツに親しんでいるかを計る指標として、週1回以上スポーツを行う市民の割合（週1回以上スポーツ実施率）について検証します。この指標は国のスポーツ振興基本計画や千葉県スポーツ振興計画でも掲げられている数値目標であることから、この数値目標を達成すべく活動を推進していく必要があります。

平成21年度に実施した「生涯学習・生涯スポーツに関する意識調査」によると、現状は36.8%となっていますが、平成32年度までに50%の割合になることを目指します。



東都五市体育大会(弓道競技)

第2節 児童生徒の運動能力証合格率

多くの児童・生徒の体力が向上しているかを計る指標として、運動能力証を取得する児童・生徒の割合（児童・生徒の運動能力証合格率）について検証します。合格率の向上を図ることで運動に積極的に取り組む意欲が醸成され、また、体力・運動能力の増進にもつながることを期待しています。

平成21年度の数値では27.0%となっていますが、平成32年度までに30%の割合となることを目指します。



テスト項目

小学校		中学校及び高等学校	
1	握力	1	握力
2	上体起こし	2	上体起こし
3	長座体前屈	3	長座体前屈
4	反復横とび	4	反復横とび
5	20mシャトルラン	5	20mシャトルラン
6	50m走	6	50m走
7	立ち幅とび	7	立ち幅とび
8	ソフトボール投げ	8	ハンドボール投げ

総合評価基準表

段階	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
A	39以上	47以上	53以上	59以上	65以上	71以上
B	33～38	41～46	46～52	52～58	58～64	63～70
C	27～32	34～40	39～45	45～51	50～57	55～62
D	22～26	27～33	32～38	38～44	42～49	46～54
E	21以下	26以下	31以下	37以下	41以下	45以下

項目別得点表【6～11歳】

男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	26kg以上	26回以上	49cm以上	50点以上	80回以上	8.0秒以下	192cm以上	40m以上
9	23～25	23～25	43～48	46～49	69～79	8.1～8.4	180～191	35～39
8	20～22	20～22	38～42	42～45	57～68	8.5～8.8	168～179	30～34
7	17～19	18～19	34～37	38～41	45～56	8.9～9.3	156～167	24～29
6	14～16	15～17	30～33	34～37	33～44	9.4～9.9	143～155	18～23
5	11～13	12～14	27～29	30～33	23～32	10.0～10.6	130～142	13～17
4	9～10	9～11	23～26	26～29	15～22	10.7～11.4	117～129	10～12
3	7～8	6～8	19～22	22～25	10～14	11.5～12.2	105～116	7～9
2	5～6	3～5	15～18	18～21	8～9	12.3～13.0	93～104	5～6
1	4kg以下	2回以下	14cm以下	17点以下	7回以下	13.1秒以上	92cm以下	4m以下

第3節 スポーツイベント参加率

多くの市民がスポーツイベントに参加しているかを計る指標として、年1回以上スポーツイベントに参加している市民の割合（スポーツイベント参加率）について検証します。

スポーツイベントへの参加は選手としてだけでなく、応援・観戦や運営の手伝いなどさまざまな形があります。これらの関与を通じてスポーツに親しみ、いろいろな人たちと交流を図ることが重要となります。

平成21年度に実施した「生涯学習・生涯スポーツに関する意識調査」によると、現状は32.6%となっていますが、平成32年度までに50%の割合になることを目指します。



成田POPラン大会

第4節 総合型地域スポーツクラブの数

「総合型地域スポーツクラブ」とは地域に活動の拠点を有し、幅広い年齢層の住民の手によって、さまざまなスポーツ活動を行うクラブです。そこではスポーツを行う目的やレベルに応じて、子どもからお年寄りまでと一緒にスポーツを行うことができるため、「総合型地域スポーツクラブの設立」は、生涯スポーツ活動の象徴的存在であり、スポーツによるコミュニティづくり・まちづくりの機会を拡大することにつながるようになります。

平成23年3月の時点で設立に至っていないため、平成32年度までに1クラブ以上設立することを目指します。

